

源流地域の今と

目指す姿について

—山梨県小菅村を例に—



小菅村長

ふなき なおよし
船木直美

小菅村長

ふなき なおよし

船木 直美

1957年生 小菅村出身

1977年～ 小菅村役場職員

2007年～ 教育課長など

2010年 小菅村役場を退職

2012年～ 小菅村長（現在3期目）



海外研修の経験から～(1995年9月)

スイス/チューリッヒ・地方の村



山梨県小菅村

東西 14 km

南北 7 km

面積 52.78 km² (95%が山林)

面積の約1/3が、東京都水源涵養林
山梨県の東部地域に位置し、東は東京都、
西は甲州市、南は大月市、北は丹波山村に隣接





ワサビ

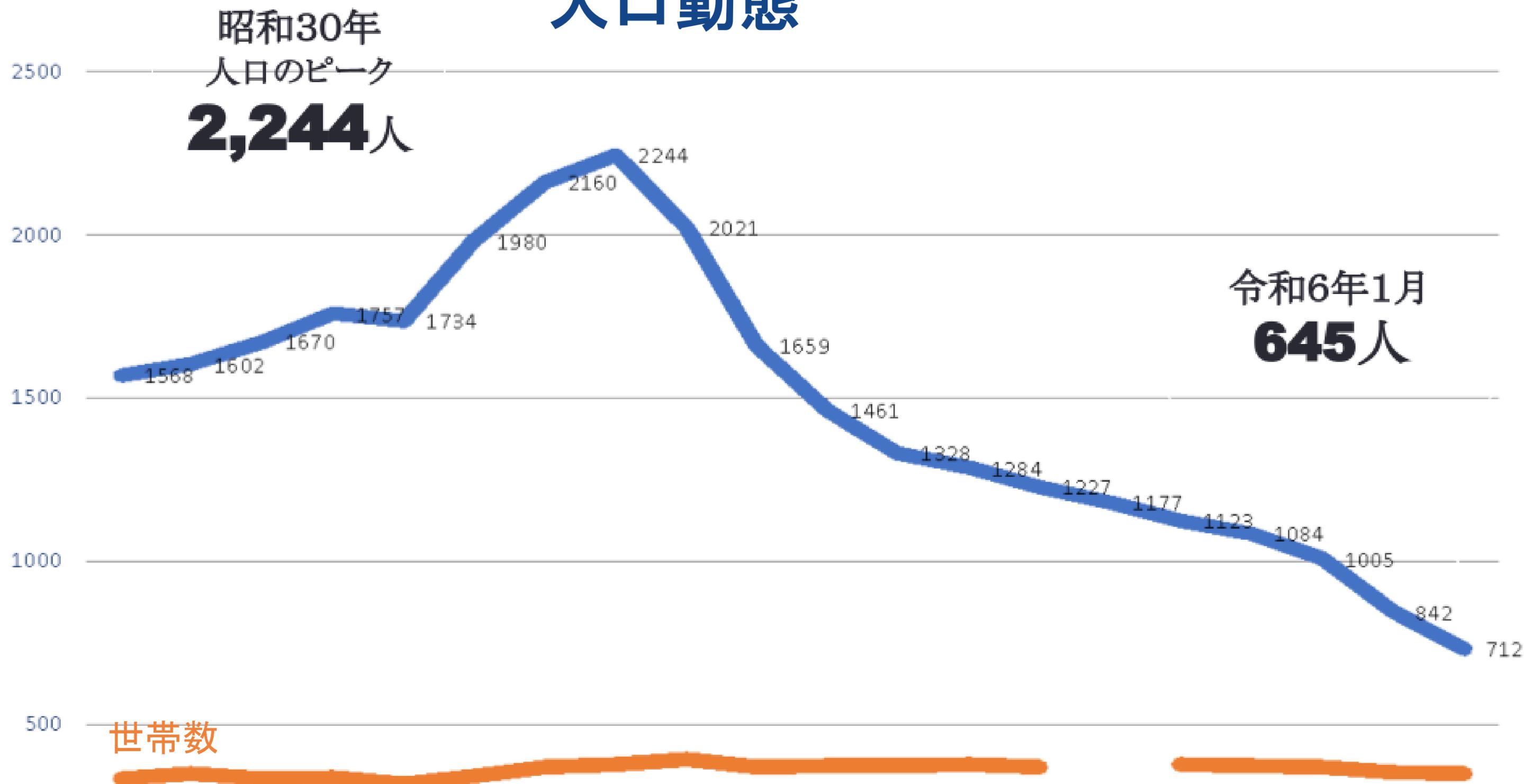


ソバ



ヤマメ

人口動態



世帯数

小菅村の課題

▷ 少子超高齢化

生産年齢人口の減少

▷ 人材・後継者不足

役場職員、村内企業全般

▷ 社会インフラの老朽化

上下水道、電気、道路

▷ 脆弱な医療体制

診療所のみ

▷ 森林の維持管理、国土保全

未整備人工林、地籍調査

▷ 地場産業の衰退

ワサビ田の消滅

▷ 郷土芸能、郷土食の衰退・消滅

第5次小菅村総合計画

2031年に680人の人口を維持することを目標

「小菅村を好きになる」「UIターン先として選ばれる」「住み続けたいと思う」ことを重視し、村民が暮らし続けられることと同時に、新たな移住者（村内外出身者）を呼び込むことができる産業基盤の育成を目指している。

<将来像>

みんなで作る源流の輪 こすげ

<令和13年の目標人口>

約**680**人*

※「まち・ひと・しごと小菅村地方創生総合戦略(令和2年3月策定)」にもとづき設定

<令和13年に目指すむらの分野別目標>



前期基本計画

将来像実現のためにやっていくこと

<重点プロジェクトの推進>

前期5年で
特にがんばること!



こすげをもっと
好きになる
むらづくり

UIターン先
として選ばれる
むらづくり

住みつづけたい
と思う
むらづくり

<分野別施策の推進>

<全分野共通>
源流の
むらづくり

産業

スポーツ
教育・文化

福祉
保健・医療

生活環境
環境保全

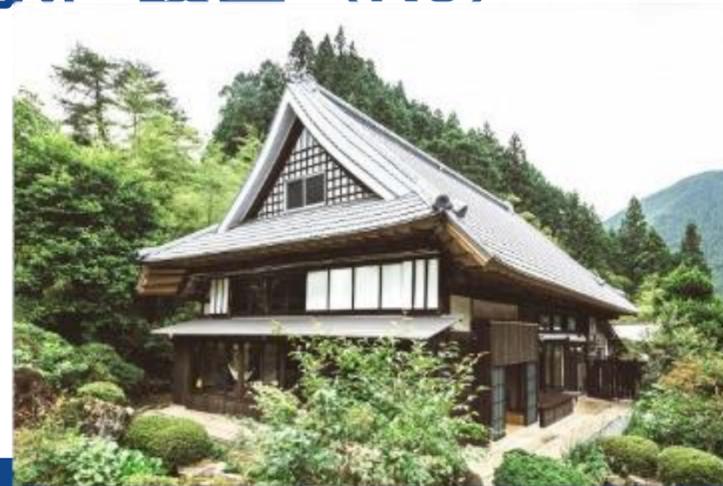
むらづくり

整合性

各分野の
関連計画

近年の取り組み

- ▷ 松姫トンネルの開通（H26年）交通アクセスが劇的に変化
- ▷ 村営主要観光施設を株式会社化(H29年)
- ▷ 「源流親子留学制度」で述べ27世帯が移住
 - 小菅小学校の児童（32人）のうち、移住児童が半数以上に（20人）
- ▷ 「タイニーハウス村」誕生!?! 小菅村から未来の住まいを発信
- ▷ 村全体を一つの宿に見立てる分散型古民家ホテル
 - 「NIPPONIA小菅 源流の村」がオープン（R1）
- ▷ ドローンの開発を行う、エアロネクストと小菅村が連携協定を締結（R2）
- ▷ 自販機でふるさと納税 全国初、道の駅に設置（R3）



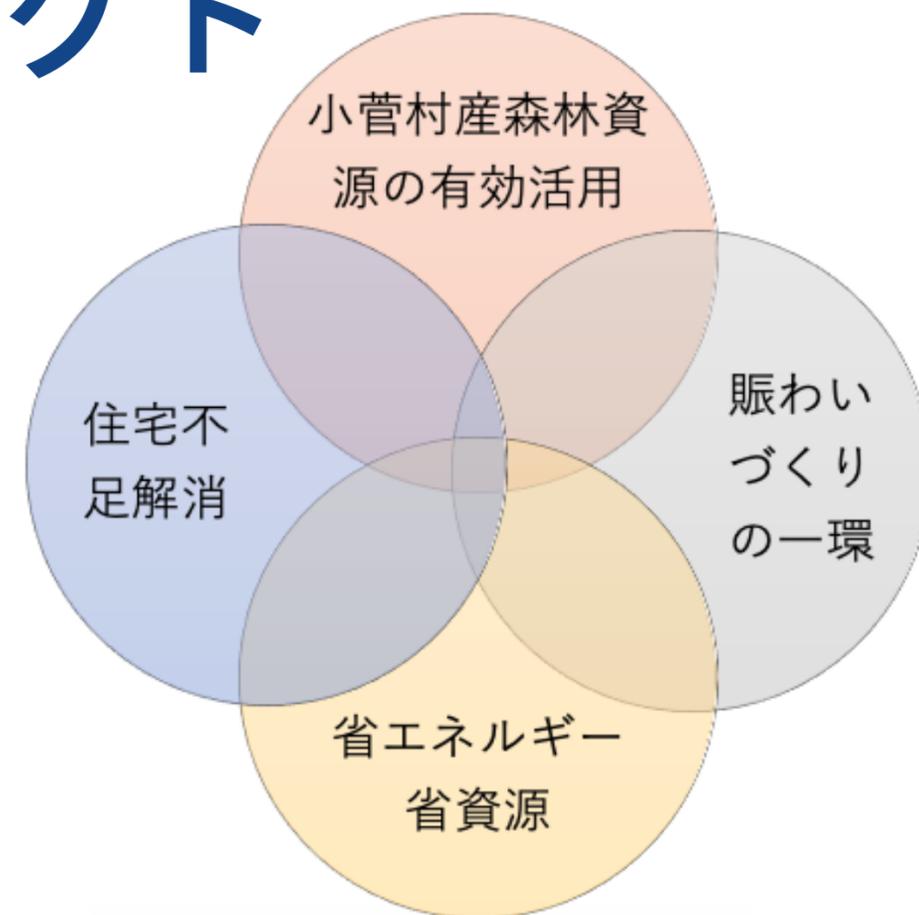
タイニーハウスプロジェクト

家としての機能を完備

設備込で500万前後（土地代除く）

維持費が安価

村内に**10棟建築済**



フォレストアドベンチャーこすげ 道の駅に隣接した森林に2013年オープン 公営型として日本初（現在は(株)源）



NIPPONIA 小菅 源流の村 (株)edge)

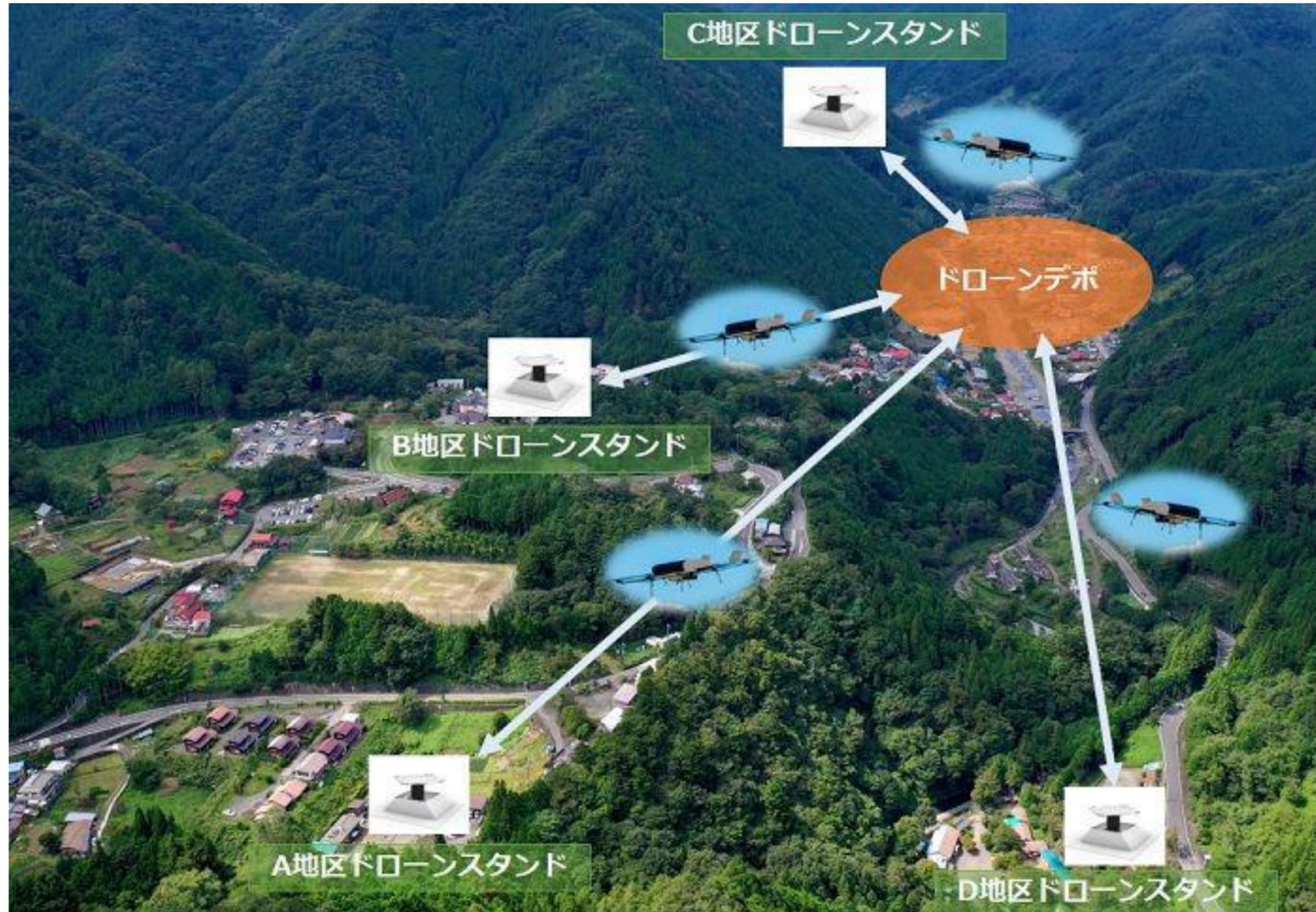
村にある古民家をリノベーションし営業

現在は大家棟、独立1棟貸しの崖の家2棟の3棟





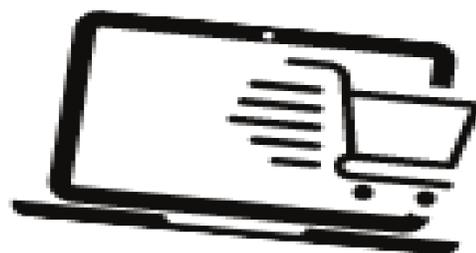
ドローン輸送の試験運行



ドローンか車で
今欲しいものをお届け

SkyHub®ストアサービス

すぐにほしいな...



1

注文

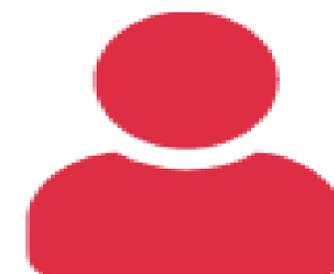
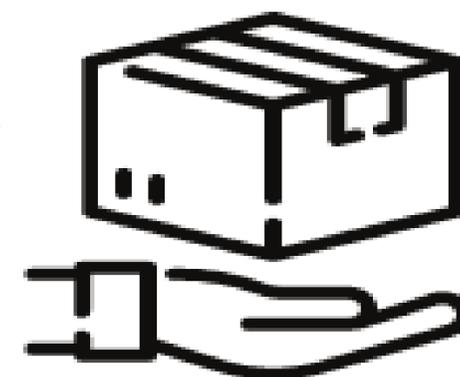
インターネットで
商品をチェック、注文・決済



OR



最短30分後にお届け



2

お届け

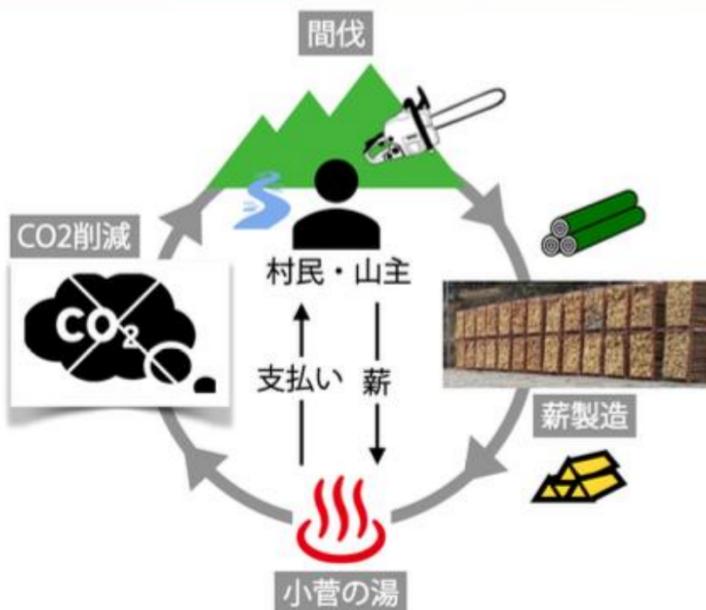
SkyHub®小菅村の倉庫から
ドローンで商品をご自宅近くまでお届け

※悪天候の場合などに
車でお届けすることもあります。

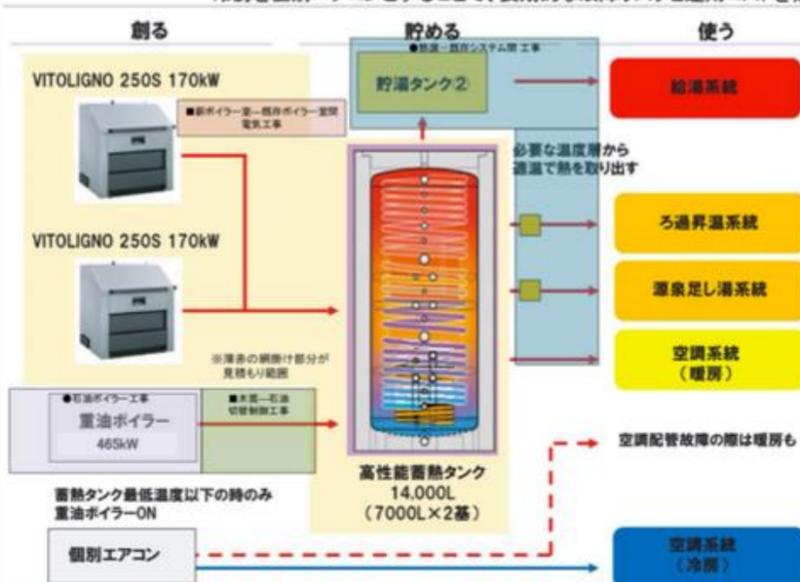
小菅の湯に薪ボイラーの導入

東京都水源地の森林整備、再エネによるエネルギー自立化を目指した「小菅の湯」への薪ボイラー導入事業

令和3年度、小菅の湯へ薪ボイラー、太陽光発電、蓄電池を導入し、CO2削減、エネルギー自立化、災害時も稼働する避難施設の実現へ！



導入システム 高性能蓄熱タンクで熱をマネジメントするシンプルな集中熱供給型へ冷房を個別エアコンとすることで、長期的な故障リスクと運用コストを低減

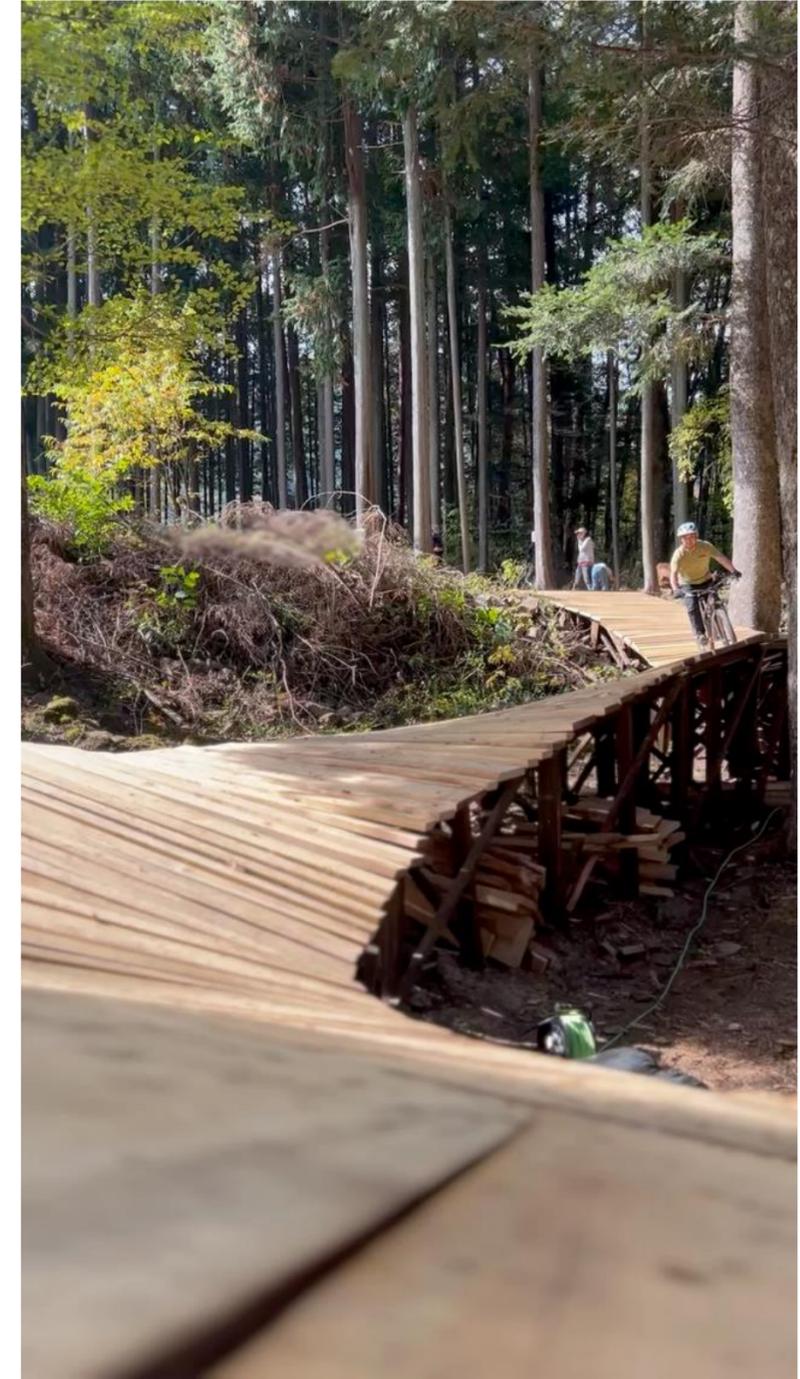


申請事業	地域レジリエンス・脱炭素化を同時実現する避難施設等への自立・分散型エネルギー設備等導入推進事業
事業主	環境省大臣官房環境計画課 環境省地球環境局地球温暖化対策課 地球温暖化対策事業室
申請主体	小菅村役場 源流振興課
事業費	76,622,459円 (補助率 2/3) 薪ボイラー、太陽光パネル・蓄電池、貯湯タンク等付帯設備、各種工事費含む
工事期間	令和3年11月～令和4年1月



多摩源流 小菅村

森林内でのMTBコースの設定

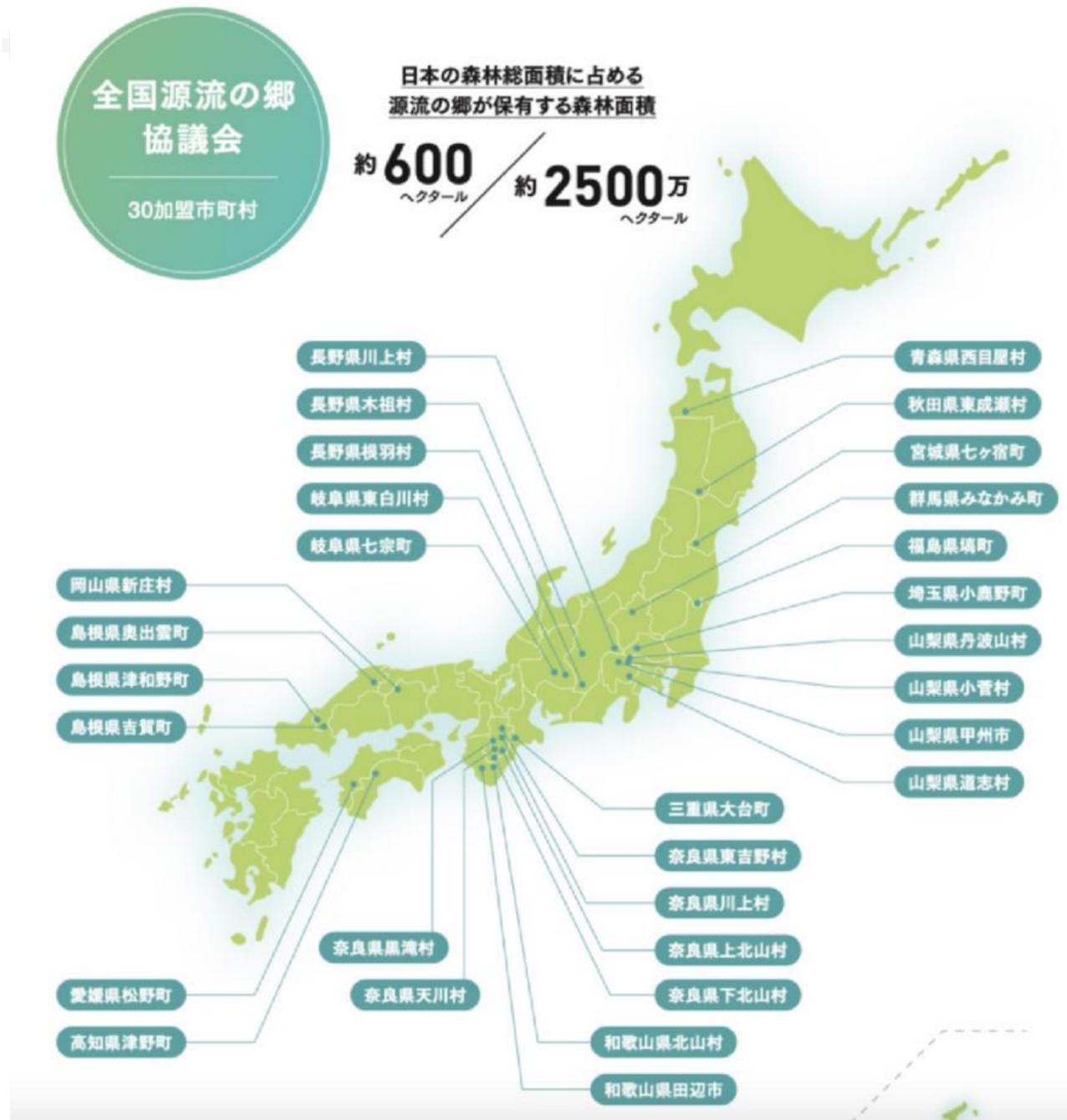


全国の源流自治体の課題

- ▷ 少子高齢化により、人口減少の進行
- ▷ 人材不足
- ▷ 災害への対策（豪雨、激甚災害）
- ▷ 社会インフラの老朽化
- ▷ 脆弱な医療体制
- ▷ 森林の維持管理、国土保全
- ▷ 伝統文化（郷土芸能、郷土食）の衰退・消滅

全国源流の郷協議会

全国の源流を持つ自治体 30 市町村
源流を応援する自治体 14 市町村





ご清聴ありがとうございました。
